

次の文を読み1～3の問いに答えよ。

Aくん(10歳、男児)は2か月前から口渇、多飲および多尿があった。2週間前から夜尿が出現していた。本日、体育の授業中に意識障害を起こして搬送された。体温 37.8℃、脈拍 100/分、呼吸数 32/分。採血の結果、血糖値 600mg/dL、HbA1c9.3%、代謝性アシドーシスが認められ、1型糖尿病の疑いで入院した。

- 1 Aくんの状態に対するアセスメントで正しいのはどれか。
  1.  $\gamma$ -グロブリンは減少している。
  2. HbA1c は正常範囲である。
  3. 浸透圧利尿がみられる。
  4. インスリン分泌が増加している。
  
- 2 1型糖尿病と診断され、主治医がインスリン自己注射の必要性をAくんと母親に説明した。Aくんは「自分で注射するなんて怖くてできない」と泣き出した。看護師の対応で最も適切なのはどれか。
  1. できるようになるまで退院できないと話す。
  2. 注射の時間には母親に学校に行ってもらうことを提案する。
  3. 自己注射をしている同年代の糖尿病患児と話す機会をつくる。
  4. 「簡単ですよ」とAくんの手に注射器を持たせる。
  
- 3 医師、看護師、養護教諭と家族で話し合い行われ、Aくんにも自己管理指導が行われた。3週間後、Aくんは血糖値の自己測定をインスリンの自己注射ができるようになり、退院した。学校に通い始めたが、「4時間目の体育の前に血糖値を自己測定したところ、70mg/dLでした。体育の授業はどうしたらよいでしょうか」と養護教諭から看護師に電話で相談があった。助言として最も適切なものはどれか。
  1. 低血糖症状の教育を行うように言う。
  2. 体育は見学させるように言う。
  3. ジュースを飲ませてから参加させるように言う。
  4. 早退し、受診させるように言う。

次の文を読み 4～6 の問いに答えよ。

A さん(25 歳、女性)は会社員である。ある日、台風による大雨で河川に近い A さんの自宅が床上浸水し、避難所となっている小学校に家族とともに移動した。移動後、A さんの自宅は河川の氾濫による洪水で半壊した。

4 被災して 1 週間が過ぎた。避難所に派遣された看護師に A さんは、「台風の当日はこのまま水が増えたらどうなるのかと非常に不安でドキドキして頭が混乱し、自分が変になったと感じました。いまでも雨が降ると不安になりますが、少し落ち着いてきました」と話している。A さんの状態として考えられるのはどれか。

1. 心気症
2. 強迫性障害
3. 心的外傷後ストレス反応
4. 心的外傷後ストレス障害

5 A さんに対する看護師の助言として適切なのはどれか。

1. 「強いストレスを体験したときには、誰もがなりうる正常な反応です」
2. 「終わったことは忘れましょう」
3. 「家の片づけを少しずつしてください」
4. 「精神科を受診したほうがよいと思います」

6 被災後に、テレビで何度も洪水の様子が放映された。A さんは洪水の夢をみるようになり、夜中に怖くて目が覚め、日中も負う髓の場面が突然よみがえって不安で何もできないと訴えている。A さんにみられる症状はどれか。

1. フラッシュバック
2. 幻視
3. パニック発作
4. 転換性障害

次の文を読み 7～9 の問いに答えよ。

A さん(83 歳、女性)は軽い認知症があるが 1 人暮らしをしている。長女は結婚して車で 1 時間のところで生活している。1 週間ぶりに長女が A さんを訪ねたところ、居室のふとんの中でうずくまっているのを発見して、主治医に訪問診療を依頼した。

7 看護師が主治医とともに訪問したところ、A さんの居室は散らかり、衣服も汚れていた。室内の様子から、数日間ほとんど食事をしていないことが疑われた。アセスメントとして適切なのはどれか。

1. 長女による虐待がある。
2. セルフネグレクトが疑われる。
3. 施設入所が必要である。
4. 認知症が進行している。

8 A さんの長女は「母に以前から一緒に暮さないかと言っているが、母がこの家で暮らしたいというのです。ヘルパーさんを頼もうとしても、他人に家の中に入られるのは嫌だと言います。認知症も心配なので病院に行こうと言ってもいやがります」と困り果てている。長女への声かけで適切なのはどれか。

1. 「毎日来てあげてください」
2. 「近所に引っ越すことはできませんか」
3. 「同居する人が必要ですね」
4. 「地域包括支援センターに相談してみませんか」

9 主治医の診察の結果、軽度の脱水が疑われ、静脈点滴による補液が行われた。長女が持ってきた食事も食べて、落ち着いた様子である。A さんは「長女が毎日来てくれるので、何も困っていないのです。病院へも行きたくありません。ただ、私も年なので、ぼけたら大変だと、それだけが心配です」と言っている。看護師の声かけで最も適切なのはどれか。

1. 「認知症が疑われますので、病院に行きましょう」
2. 「娘さんは遠くて毎日は来ていませんよ」
3. 「そうですね。心配ないかどうか病院に行って確認しましょう」
4. 「1 人暮らしより、娘さんと一緒に暮らす方が安心ですよ」

次の文を読み 10～11 の問いに答えよ。

A ちゃん(11 か月、男児)は生後 5 か月時にたまごボーロの摂取で蕁麻疹を発症した。本日、卵を摂取したところ、嘔吐と蕁麻疹がみられたため受診した。初診時の皮膚プリックテストでは、卵(+)、牛乳(-)、小麦(-)、血液検査では IgE 34 であり、卵アレルギーが疑われた。

10 A ちゃんについて正しいのはどれか。

1. 診断には卵の経口負荷試験が必要である。
2. 麻疹の予防接種は禁忌である。
3. 卵は一生除去しなければならない。
4. 鶏肉は除去しなければならない。

11 検査の結果、A ちゃんは卵アレルギーと診断され、卵の除去が始められることになった。A ちゃんの母親への指導で適切なのはどれか。

1. 蕁麻疹の予防にステロイド軟膏を塗布する。
2. 食物日記のつけ方を指導する。
3. 母乳は早期に中止する。
4. 加工食品に使われている卵は問題ない。

次の文を読み 12～14 の問いに答えよ

A さん（55 歳、女性）は、2 ヶ月前から倦怠感と食欲不振を感じていた。半月ほど前から咳が出てとまらなくなり、夜間も咳が続いて眠れないため受診した。胸部エックス線撮影の結果、右肺尖部に陰影が認められた。喫煙の経験はない。

12 A さんは上肢のしびれを訴えている。ほかに観察される可能性が高い症状はどれか。

1. 発汗増多
2. 眼瞼下垂
3. 眼球突出
4. 両下肢の浮腫

13 精密検査のため入院となり、気管支鏡による肺生検が行われた。検査の結果、腺癌ⅡB 期（T2N0M0）と診断され、開胸右上肺葉切除術が行われることになった。肺機能の試験結果は%肺活量 80%、一秒率 85%であった。手術前に行われる呼吸訓練はどれか。2つ選べ。

1. 胸式呼吸
2. 呼吸筋訓練
3. ハッフイング
4. ロすぼめ呼吸
5. ピークフロー

14 手術後に術後補助化学療法として、シスプラチンとイリノテカンが投与されている。注意する症状はどれか。2つ選べ。

1. 乾性咳嗽
2. 血尿
3. 尿量減少
4. 末梢のしびれ感
5. 下痢

次の文を読み問 15～17 に答えよ。

A さん（62 歳、男性）は会社の常務取締役として精力的に仕事をしている。10 年前より糖尿病でインスリン治療を続けているが、HbA1c10.8%とコントロール不良である。喫煙は 20 歳から 1 日 20 本程度続けている。半年前ころから体動時に前胸部痛を自覚していた。本日午前 10 時、会議中に前胸部痛と目の前が暗くなる感じがあり、改善しないため、午後 3 時 30 分に救急車で受診し、緊急入院した。

15 A さんには、入院直後に心臓カテーテルが挿入され、冠動脈造影が行われた。左冠動脈前下行枝の完全閉塞と左回旋枝の狭窄が確認され、左回旋枝に対しステントによる経皮的冠動脈形成術（PTCA）が行われることになった。家族に対しての説明で適切なものはどれか。

1. 「血管に詰まっている血栓をお薬で溶かします」
2. 「狭くなった血管を広げて金属の網状の筒を入れます」
3. 「足の血管を心臓の血管に移植して血液の流れをよくします」
4. 「器械を埋め込んで心臓の働きを助けます」

16 経過良好のため、心臓リハビリテーションが開始され、入院 5 日にトイレ歩行可能になった。検査のため外来に行く手段として適切なものはどれか。

1. ストレッチャーによる搬送
2. 車椅子による搬送
3. 歩行器使用に歩行
4. 独立歩行

17 A さんは、身長 170 cm、体重 75kg である。今後の治療目標で正しいのはどれか。

1. 体重 20%以上減量
2. HbA1c 7%未満
3. トリグリセリド 150mg/dL 以上
4. HDL 40mg/dL 以下

次の文を読み問 18～20 に答えよ。

A さん（55 歳、男性）は会社員で営業部長である。午前中の会議を終えた直後、突然激しい頭痛と嘔気におそわれ、嘔吐した。声かけにも返答できないため、救急車で病院に搬送され入院した。

- 18 入院時の血圧は 200/130mmHg で、CT 検査の結果、左被殻出血と診断された。A さんにみられる症状はどれか。
1. 左半側空間無視
  2. ホルネル症候群
  3. 下方共同偏視
  4. 運動性失語
- 19 入院当日、グリセロールの静脈内点滴が開始された。この時期の看護として適切なのはどれか。
1. 瞳孔径を測定する
  2. 水平臥位で安静にする
  3. 浣腸を行う
  4. 食事は全介助とする
- 20 1 週間後に定位的脳内血腫除去術が行われ、半身麻痺と言語障害は残存したが、術後の経過は良好で退院となった。退院後の生活指導として適切なのはどれか。
1. 左手の関節可動域訓練を行う
  2. 自宅安静とする
  3. 入浴温度は 42℃とする
  4. 減塩食とする

次の文を読み問 21～23 に答えよ。

A さん（76 歳、男性）は 40 歳代より糖尿病を指摘されて治療を続けている。73 歳の妻と、共働きの長男夫婦と一生に暮らしている。孫たちは進学や就職で家を離れて生活している。最近物忘れが激しくなっていたが、家族は年齢のせいではかたがなと考えていた。3 日前の朝、声をかけても返事が無く、右半身に力が入らない状態だったため、家族につれられて受診した。CT や MRI の所見で多発性脳梗塞が指摘され、入院となった。

21 A さんは多発性脳梗塞による脳血管性認知症と診断された。A さんにみられる症状として可能性の高いのはどれか。2 つ選べ。

1. 徘徊
2. 失語
3. 人格の崩壊
4. 多幸感
5. 情動失禁

22 治療方針が決定し、A さんは退院となった。

ACE 阻害薬とアスピリンの内服が行われることに対する家族への説明で適切なのはどれか。

1. 「水分を制限してください」
2. 「納豆は禁止です」
3. 「塩分制限の必要はありません」
4. 「適度な運動を確保してください」

23 A さんの妻が家庭での介護に不安を訴えてきた。看護師が行う最初の対応として適切なのはどれか。

1. 地域包括支援センターを紹介する
2. 長男の妻には仕事を辞めてもらうように勧める
3. 心配事は何か尋ねて話を聞く
4. 介護保険施設への入所を勧める



次の文を読み問 24～26 に答えよ。

A さん(70 歳、男性)は、65 歳の妻と 40 歳の長女との 3 人暮らしである。5 年前にパーキンソン病と診断され、薬物療法がおこなわれている。ヤールの重症度分類 stageⅢで、手指の振戦と小刻み歩行がある。数日前から食欲不振と倦怠感を訴え受診した。検査の結果、肺炎と診断され、入院となった。

24 A さんの肺炎をアセスメントするために、妻や長女から聞き取る情報として最も優先されるのはどれか。

- 1, 「歩く時の姿勢はどうですか。」
- 2, 「手の震えはひどくありませんか。」
- 3, 「食事中はうまく飲み込めてましたか。」
- 4, 「突然動きが止まることはありませんか。」

25 入院治療により、肺炎は軽快し食欲も回復して食事は全量摂取できている。退院に向けて歩行訓練などのリハビリテーションも始められた。A さんは入院前から、尿意はあるが尿が出にくく、便秘であると訴えている。

A さんの訴えに関するアセスメントで最も適切なのはどれか。

- 1, 活動性の低下が原因である
- 2, 高度の脱水が原因である
- 3, 薬の副作用の可能性はある。
- 4, 腹圧性尿失禁が起こる可能性がある

26 A さんの経過は良好で退院が決定した。退院に向けての指導で適切なのはどれか。2 つ選べ。

- 1, できることは自分で行う
- 2, なるべく自宅内で過ごす
- 3, 立ち上がり動作は勢いよく行う
- 4, 深呼吸をしながら長く発声する
- 5, 副作用が強くてもそのまま内服を続ける

次の文を読み問 27～28 に答えよ。

A ちゃん(3 歳、男児)は発語が少なく、抱っこしても視線を合わせない、呼んでも振り向かないなどの症状が見られていた。3 歳児検診で異常を指摘され、児童相談所で検査の結果、自閉症と診断された。

27 A ちゃんは児童相談所の紹介で、専門病院を受診した。初診時、A ちゃんの母親は「自閉症は母親の愛情が少ないことが原因だと夫の両親から責められました。私はどうしたらよいのでしょうか。」声掛けで適切なのはどれか。

- 1、「お母さんの育て方が原因ではありませんよ。」
- 2、「治療すればなおります。」
- 3、「父親側の遺伝要素が強いのです。」
- 4、「たくさん抱っこしてあげましょう」

28 A ちゃんは障害児地域療養等支援事業実施施設に通所して療養指導を受けることになった。家庭での A ちゃんへの接し方で適切なのはどれか。

- 1、刺激を与えるために定期的に部屋の模様替えをする。
- 2、常同行為はやめさせる
- 3、同じ言葉を繰り返しているときはやめさせる
- 4、迷惑行為は優しく静かに教える

次の文を読み 29～30 の問いに答えよ。

A さん(48 歳女性)は会社員で、夫と 2 人暮らしをしている。子どもはいない。喫煙習慣があり、夫と毎日、日本酒 2 号程度の晩酌をしている。2 か月前から、A さんに顔面のほてり感と突然の全身の発汗が見られ始めた。

29 A さんに生じているのはどれか。

- 1、ゴナドトロピンの分泌低下
- 2、プロラクチンの分泌上昇
- 3、エストロゲンの分泌低下
- 4、プロゲステロンの分泌上昇

30 A さんの今後について正しいのはどれか。

- 1、骨粗鬆症のリスクは低い
- 2、アルツハイマー病のリスクが高い
- 3、動脈硬化症のリスクが高い
- 4、躁うつ病のリスクが高い